

令和3年7月6日

5年生保護者の皆様

犬山市立犬山北小学校
校長 神谷 勝治
学年主任 田中 久徳

自然教室1日目の弁当について

小暑の折、保護者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。平素は、本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、1日目の弁当容器のルールについて十分な周知に至らず、不公平感を生むこととなりました。ルールが把握できた方、ルールが伝わらなかった方、事情により特別な対応をされた方など、全ての方に不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ありませんでした。

下記に経緯と原因、今後の対策をお示しします。大変ご迷惑をおかけしたうえに、甚だ勝手ではございますが、今後とも学校の諸活動に対してご支援をお願いいただければ幸いです。

記

1 経緯

- 5月31日（月）事前説明会で、弁当の容器は捨てられるようなものを依頼した。例として、アルミ箔やサランラップで包んだ物がよいと提案した。
- 6月中旬、施設との確認で、持ち込みのごみは、アルミ箔・サランラップ以外のプラゴミは、現地では捨てられないことが判明した。
- 児童集会において、プラスチック容器は捨てられないため、アルミ箔やサランラップ等で包むものがよいことを口頭で伝えた。
- 7月1日（木）犬山北小学校HP（ホームページ）に昼食の様子を掲載した。
- やむを得ずプラスチック容器を持参した家庭は、ゴミを自宅に持ち帰った。

2 原因

- 情報収集が不十分で、5/31の保護者会で正確な情報が提供できなかった。
- 児童には、複数回弁当容器について伝達したが、口頭のみであった。
- しおりの持ち物欄に「弁当（捨てられる容器で）」と表記していたが、この部分への加筆修正の指示ができていなかった。
- 校内で、弁当容器のルールについて、情報共有がなされていなかった。

3 今後の対策

- 重要案件や、やむを得ず、大きく内容が変更されるような場合には、文書・メール配信等で、保護者に直接情報をお届けする。
 - 事前準備が必要な内容に関しては、急な変更が発生しないように、十分な確認を行った上で依頼する。
 - 全学年でこの案件を共有し、同様な事例の再発を学校全体で防ぐ。
 - HP等での情報発信では、個別の事情に十分配慮して対応する。
- ※ どの項目も、当たり前に行われていなければならないことであると認識してまいります。履行できなかったことを反省し、改めて、全教職員で確認します。

4 お願い

- 食に関する個別対応は命にも関わる内容があります。給食同様、全ての家庭・児童が一律にならないことがありますので、時に差異が生じることをご理解ください。